

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～22℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり25トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の69%（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.6kgの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり85kgの水揚げで前週を上回った（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり47kgの水揚げで、前週の80%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり634kgの水揚げで前週並み（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、シイラなどが1日1統当たり520kgの水揚げ。五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり943kgの水揚げ。北松生月地区では、シイラなどが1日1統当たり2.4トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アジなどが1日1統当たり90kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヤズなどが1日1統当たり439kgの水揚げ。
- 一本釣――北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり6kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 延縄――北松小値賀地区では、アマダイなどが1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の15%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/5～12/7日の3日間）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（武蔵堆周辺海区及び大和堆周辺海区へ、一部に切揚船も有り）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～青森沖～北海道西沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）